



2023年BSサミット事業協同組合

新春賀詞交歓会を開催

磯部理事長の挨拶

自動車メーカーとの提携を念頭に  
モビリティサービスの全国ネットワークを構築

2023年1月11日(水)、東京港区のANAインターコンチネンタルホテル東京にて「2023年BSサミット事業協同組合 新春賀詞交歓会」を開催。政界をはじめ関係省庁からの来賓(2面・表参照)、損害保険会社、ロードサービスアシスタンス会社、協賛会社が多数参集した本会冒頭の挨拶で、磯部君男理事長は「構造変革の渦中にある自動車業界において、我々自身も変革を続けます」と、業界のリーディング組織として前進する意気込みを語った。

進むEVシフト…

整備業界も変革に対応が必須

自動車業界は今、いわゆるC A S Eと呼ばれる変化のうねりが押し寄せ、自動車はモビリティへと進化し、自動車産業界そのものも構造変革の渦中にあります。こうした変化は2023年も一段と加速するようになるでしょう。

想定以上の速さで進むEVシフトはそのひとつです。内燃機

次世代自動車に対応した  
アフターサービス網を構築

特定整備の認証取得率が昨年11月末現在で、全国平均44.2%となっており、BSサミット組合員の取得率は99%で、3月末までに100%を必ず達成します。言い換えれば、モビリティサービスの全国ネットワークを構築するための土台が既に出来上がっているのです。自動車運行装置認証取得には自動車メーカーとの契約が不可欠です。BSサミットは従来車に加え、次世代自動車に対応したアフターサービスについて、自動車メーカーとの提携を自指すことを念頭に構築して参ります。

そのひとつが電動車に対応した工場環境の整備と教育です。教育については、自動車メーカー各社が普及を進めるEVに関する研修だけでなく、ドイツの

げなど電動化戦略を打ち出し、車載電池の調達合戦を繰り広げています。

EVシフトの影響が整備業界にも及ぶことは、今さら言うまでもないでしょう。EVの部品点数は、ガソリン車の10分の1になることも言われており、この事実だけを捉えても整備需要が減少することは明白です。我々、整備業界もまた、自動車業界の変革に対応していかなければなりません。



るまで、整備技術の高度化への対応を進めている状況です。先ず、組合員向けにいつでも利用できるような動画を制作し、本年5月より定期配信して参ります。電動車に対応した工場環境の整備については、組合員の拡充と同時に進めていきます。

サイバーセキュリティ、  
カーボンニュートラルへの対応

サイバーセキュリティ、カーボンニュートラル対応も着実に進めていきます。サイバーセキュリティについては、サイバー攻撃への対応といった大きな取り組みだけでなく、我々の日常業務に関するところまで多岐に渡ります。自動車メーカーは今後、アフターサービス分野も含めてサイバーセキュリティ体制を強化してきます。すでに国内で販売されている一部の車では、サイバーセキュリティ対策の一環として診断機能へのアクセスが制限され始めている状況です。車両のサイバーセキュリティ対策は各自動車メーカーにより異なるため、車両のアクセス権を取得するには自動車メーカーごとに登録、契約や支払い条件など個別の対応が必要となります。BSサミットは、自動車メーカーからの信頼を得られる作業品質を確保し専用スキヤットールの供給が受けられる体制づくりを進めています。

最後に申し上げますが、ご臨席の皆様、これからのBSサミットは、構造変革の渦中にある自動車業界において我々自身も変革を続けます。本年もBSサミットへのご支援・ご協力をお願い申し上げます。



クラウド型自動車钣金業務支援システム



らくらく導入、かんたん操作

『日常業務の効率化』をサポート!

- 钣金伝票発行
- 3D 部位部品選択
- 钣金工程管理

いつでも、どこでも システムを使いたい!

と思ったことはありませんか?

ブロードリーフのクラウドは

すぐに使えて、場所、端末に依存しない、

新しい働き方を実現します。

必要な機能を必要な分だけ導入可能、

組み合わせは自由自在です。

詳細はQRコードを読み込んでください



株式会社ブロードリーフ



自動車業界は大変革期

激動の一年が新春賀詞交歓会でスタート!

自動運転、EVシフト、GX、人材問題  
次世代自動車時代の課題解決に期待が集まる

第一部 全体会議

2023年新春賀詞交歓会の第一部・全体会議は、増田副理事長による開会の辞で幕を明けました。320名を超える方々に列席いただいた本会は、基本宣言・組織理念・活動指針の唱和から、磯部理事長の挨拶と続いたのちに、来賓の皆様からご挨拶を賜りました。



株式会社オートバックスセブン 小林喜夫 取締役会長にご挨拶を頂いた

まずは、安全な自動車の車体を確保する議員連盟(以下、議員連盟)・顧問、BSサミット顧問の中川秀直先生から「自動車業界が変わってきているなか、アフターマーケットに従事する皆さんのお仕事も、これからは車の車体というハードだけではなく、半導体やソフトウェア、あるいは地産地消の必要な充電などを扱う時代に入ってきます。そういった意味でも、この業界で最もハイレベルなBSサミットの役割は大きくなるのだらうと信じています」と、時

第一部 懇親会

2020年にBSサミットと包括的業務提携を締結した株式会社オートバックスセブンの小林喜夫 取締役会長は「これまでで全国43支部中、20支部の方々からご交流を持たせていただいていると認識しておりますが、まだまだこれからだと思っております。全国各地で連携を組めるように進めて参りたいと思っておりますので、一緒に成長していけるようご理解、ご協力の程宜しくお願ひ致していただける皆様のお仕事は非常

代の先端を行くモビリティサービスを目指すBSサミットの姿勢に対する期待のお言葉を頂戴しました。続いて、議員連盟・議長を務める自由民主党参議院議員 赤池誠章先生(自由民主党政務調査会副会長)からは「自動車アフターマーケットを支える皆様方の成長・発展がなければ、自動車産業の成長・発展はなく、自動車産業の成長・発展・活性化がなければ日本経済の成長・発展はありません。今年一年、できる限り直接意見交換をさせていただき、引き続き国政から応援をさせていただきます」と、激励のお言葉をいただき、ご共に協力の姿勢を示していただきました。



BSサミット顧問 本田勝様に乾杯のご発声をお願いした



政界から多数のご来賓に参加いただきました

Table listing attendees from the political world (政界からのご来賓) and government relations (官庁関係のご来賓), including names and titles of various members of parliament and government officials.



に重要だと思っております。そのためには労働者をしっかりと確保していかなければならない中で、安全な自動車の車体を確保する議員連盟の総会で皆様からいただいた外国人人材確保に関するご要望をしっかりと受け止めてこれから活動していきたいと思っております」と、頼もしいお言葉を頂戴しました。

さらに、ご列席いただいた損害保険会社、ロードサービスアシスタンス会社の代表の方々からも、BSサミットへの期待や激励に溢れた温かいお言葉を賜り、組合員一同身の引き締まる思いを抱く会となりました。

問1 次の空欄を埋めて式を完成させよ。

CO2の少ない移動 =  $\boxed{\text{SMAS}} \times \boxed{\text{パートナー}} \times \boxed{\text{モビリティ}}$

サステナブルな社会。それはお客さま、パートナーとともに描く未来です。



# 自動車アフターマーケットの祭典 | IAAE2023が開催

自動車アフターマーケットの祭典「第20回国際オートアフターマーケットEXPO2023 (IAAE2023)」が、今年は3月7日(火)から9日(木)の三日間、東京ビッグサイト西3・4ホールで開催となります。

IAAEは、自動車の整備・メンテナンスをはじめ、自動車を取り巻く環境・インフラなど、様々な自動車アフターマーケットに関する最新情報、業界動向について、セミナーや実演・展示などによって情報を発信する場として知られる、自動車アフターマーケットにとって有意義なビジネス交流の場を創出するコンベンションです。記念すべき

20回目の開催となる今回は、約250社・団体/504小間が出展予定(2023年1月時点)、43のセミナープログラムが企画されており例年以上の盛り上がりが見込まれます。BSサミット事業協同組合としても、当組合の先進的な取り組みを業界関係者に広くアピールすべく今年も協賛会社各社とともにブース出展を行います。

また、会期3日目には、例年多くの方に聴講いただく「オートアフターマーケットサミット2023」が予定されており、BSサミットの副理事長を務める朝日自動車株式会社の藤野利浩代表取締役を含む各業界団体の代表者が登壇

予定です。それぞれの視点から現状のアフターマーケットの分析や課題、今後の展望などに言及されます。

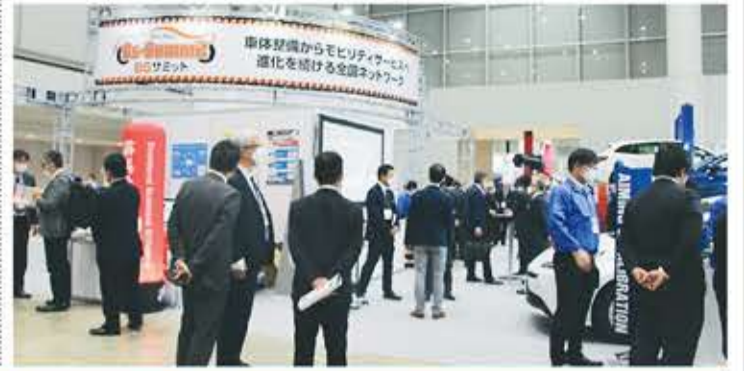
さらに会期2日目には、「混沌と変容の四半世紀と、これからの自動車アフターマーケット~業界構造の変節を正しく捉えるために~」と題した20回記念フォーラムが予定されており、BSサミットの磯部君理事と全日本ロータス同友会の室谷眞一相談役、そして株式会社オートバックスセブンの住野公一相談役が登壇いたします。

その他、EVセミナー「EV普及を見据えた自動車アフターマーケットの体制作り~整備事業者としての挑戦~」

にBSサミットの副理事長である有限会社センチュリーオート 石井英幸代表取締役が、キャリブレーションコーナー「高度化する広義のエイミングへの対応~電子制御装置整備のコンプライアンス

~」に千葉支部の株式会社車検・钣金デポ 上松禎知代表取締役が登壇予定です。

EVや自動運転など、自動車業界を取り巻く環境が大きく変化する昨今、自動車アフターマーケットにおけるリアルなビジネストレンドを見つめるために、会場に足を運ぶことをお勧めいたします。



オートアフターマーケットビジネス唯一の展示会

## International Auto Aftermarket EXPO

第20回 国際オートアフターマーケット EXPO 2023

会期 2023年3月7日(火)~9日(木)  
10:00~17:00 (最終日のみ16:00まで)

会場 東京ビッグサイト 西3・4ホール

### 自動車整備・钣金事業者 必聴のセミナー開催!!

3月7日(火) 13:00~13:45 ▶セミナー会場C  
BSサミット事業協同組合

#### 自動車メーカーに認められる整備事業者への近道

100年に一度の大変革期に対し、車体整備のリーディング組織「BSサミット」はどうか対応していくのか?そして「車体整備からモビリティサービスへの転換」を掲げる真意について説明致します。



副理事長  
石井 英幸 氏



副理事長  
近畿ブロック担当理事  
増田 洋一 氏



副理事長  
組織戦略協議会議長  
藤野 利浩 氏



専務理事  
財務担当理事  
黒木 康男 氏



組合員拡充委員長  
坂井 光藏 氏

▼申込み専用ページ



会場にて組合員募集説明会を開催  
3/7 午後、3/8 午前・午後、3/9 午前・午後  
上記計5回、説明会を開催致します。詳細はBSサミット本部まで

## 次世代自動車時代をともに 勝ち抜いていく 志高き組合員を募集しています

**組合員拡充委員会**

全国各地で組合員を増強することにより、自動車メーカー各社の受け皿としての準備を進める

BSサミットは2024年を目途に、組合員数を現状の323社から700社に増やすことを計画しています。そのため、入会基準の対象を車体整備工場から指定整備工場にまで拡大しました。組合員の拡充によってBSサミットの組織力を向上させると同時に、次世代自動車整備にも対応した全国ネットワークを構築するため新たな工場基準を設けました。入会基準の詳細は控えますが、基準改定のポイントは次の6つ、現時点で全てを満たす必要はありませんが、目指すべき姿として理解を求めます。

- ① 钣金塗装工場と指定工場それぞれの入会基準を設定する
- ② 店舗外観等の項目を追加
- ③ 新たに入会する指定整備工場の钣金・塗装業務は、既存組合員工場との連携を図る
- ④ エーミング環境・設備、車検検査機器、EV用充電設備の設置等の項目を追加
- ⑤ 工場規模に応じた工場管理者の任命を追加
- ⑥ サイバーセキュリティ、カーボンニュートラルの項目を追加

つきましては、3月7日(火)~9日(木)の三日間、東京ビッグサイト 西3・4ホールで開催される「国際オートアフターマーケットEXPO 2023 (IAAE 2023)」の会場にて組合員募集説明会(会期中計5回)を開催致します。説明会では、坂井組合員拡充委員長よりBSサミット入会のメリットや条件などについて、より具体的な説明をさせていただきますので、興味をお持ちの方は是非とも会場に足をお運びください。

さらに説明会に先立ち3月7日

**組合員の拡充**

BSサミットは2024年を目途に

323社 → 700社 に増強

入会基準の対象を車体整備工場から  
**指定整備工場に拡大**

---

**組合員工場基準の改定ポイント**

- 1 钣金塗装工場と指定工場、それぞれの入会基準を設定する
- 2 店舗外観等の項目を追加
- 3 新たに入会する指定整備工場の钣金・塗装業務は、既存組合員工場との連携を図る
- 4 エーミング環境・設備、車検検査機器、EV用充電設備の設置等の項目を追加
- 5 工場規模に応じた工場管理者の任命を追加
- 6 サイバーセキュリティ、カーボンニュートラルの項目を追加

新春賀詞交歓会 磯部理事長の発表資料

### 自動車の進化に伴う様々な法改正

自動運転やADASをはじめとした先進技術の実用化に向けて、政府主導で自動運転技術や運転支援技術の普及が進められていますが、今後も様々な法改正が予定されています。2024年からのOBD車検開始に向けたこの期間は、まさに100年に一度の大変革期ともいえ、整備事業者に求められるハードルは益々上がりつつあります。BSサミットは、日本の車体整備業界のリーディング組織として、時代の潮流を読み様々な難局を乗り越えるべく、常に先を見据えた取り組みを行っております。



2018 4月 登録車OSS利用開始

2019 5月 軽OSS利用開始

2020 4月 改正道路運送車両法施行  
電子制御装置整備認定開始  
特定整備の経過措置の開始

2021 4月 特定化学物質障害予防規則等改正  
10月 新点検基準施行  
11月 実産車自動ブレーキ義務化  
OBD車検プレテスト開始

2022 4月 寄接ヒューム濃度測定等  
5月 後進時高度後進確認装置  
新型車装着義務化

2023 (You are HERE) 1月 検査証の電子化  
10月 インボイス制度開始

2024 3月 特定整備の経過措置期間の終了  
7月 輸入車自動ブレーキ義務化  
10月 OBD車検 運用開始

2025 10月 輸入車のOBD車検開始 (2022年10月1日以前の製造車は除外)

2026 12月 継続生産車・自動ブレーキ義務化 (継続生産車とは継続生産車の中で製造されている車)

2027 9月 軽トラック自動ブレーキ義務化

日本の車体整備業界のリーディング組織 BSサミット

## 革命はここから始まる!

100年に一度の大変革期をともに勝ち抜いていく 志高きメンバーを募集しています。

(お問い合わせ先)  
BSサミット事業協同組合  
TEL:03-3538-2900 E-mail: honbu@bs-summit.co.jp  
http://www.bs-summit.jp



# BSサミット個人情報保護研修を動画配信

2023年1月、BSサミット事業協同組合・フロント教育委員会は組合員各社に向けて「2022年度 BSサミット個人情報保護研修」の動画配信を開始いたしました。動画の冒頭、フロント教育委員会の奥谷委員長より「個人情報保護法」とはどのようなものなのか、私どもの実務においてはどのようなことに注意し、対応していかなければならないのか、経営者と従業員が正しく理解し運用していかなければいけません」と本研修開催の意義について説明がありました。また、本研修を動画配信形式で行う理由について「繰り返し、経営者、全従業員に時間を気にせずご覧いただけます」と、社内研修として活用をして貰いたい旨説明されました。研修は全4部から構成されています。

●第1部「個人情報保護法の概要」(約20分)  
●第2部「個人情報の取得・利用の留意点」(約33分)

●第3部「個人情報保護法の留意点」(約7分)  
●第4部「個人情報保護への取り組みについて」(約40分)

合計100分程の内容で、M&Pパートナーズ法律事務所 所長 弁護士 田嶋智之氏を講師に迎え研修動画を撮影いたしました。

第1部「個人情報保護法の概要」は、個人情報保護法が制定された経緯や個人情報の定義など全体像を学ぶことで、なぜ本研修が重要なのかを理解促進させることを目的としています。そして第2部においては、実際に個人情報を取得・利用する際の注意点を具体的に説明し、さらには個人データを安全に保管・管理するために必要な適切な措置についてもその種類と内容まで細かく説明されました。続く第3部では、万が一個人情報が漏洩してしまった際にはどのような対応が必要なのか、事後処理を誤り、問題を大きくしないための方策を解説いただいています。最後の第4部では、ここまでで解説された「個人データ」と「保有個人データ」、「個人情報データベース等」について整理をし、各社の個人情報の取り扱いがどうなっているのか、まずは会社におけるルールを確認することを促されました。情報は一度漏洩すると、回収することは困難であるから、日頃より整理整頓を心がけ、業務に取り組んでいただくことが求められました。

BSサミットは「自動車メーカーに信頼される工場」を目指していることから、個人情報の取り扱い等、コンプライアンスを徹底することが重要になると考えております。大切なお客様からの信頼を失墜することがないように、組合員各社への研修を今後も行っていくと思っております。

安全管理措置の種類と内容とは?

① 個人データの取得	② 個人データの保存
③ 個人データの加工	④ 個人データの提供
⑤ 個人データの消去	⑥ 個人データの管理
⑦ 個人データの廃棄	⑧ 個人データの保護
⑨ 個人データの取扱い	⑩ 個人データの取扱い

自動車販売・塗装業務において扱う個人情報には?

- ▶ 車検証、受注書など特定の個人を識別できる氏名、住所等が記載されているもの
- ▶ 運転免許証(個人識別番号)

個人情報の取扱いに関する事項

個人データの取得、利用、保存、加工、提供、開示、訂正、削除、毀損防止、安全管理措置、個人データの取扱いに関する事項

個人データの取得、利用、保存、加工、提供、開示、訂正、削除、毀損防止、安全管理措置、個人データの取扱いに関する事項

## オートアフターマーケット連絡協議会2022年度1月定例会開催

代表理事として挨拶する  
藤野副理事長

2023年1月24日(火)、海事センタービル(東京都千代田区麹町4-5)4階401・402会議室にて「オートアフターマーケット連絡協議会」の2022年度1月理事会および定例会が開催されました。

同協議会は、自動車アフターマーケットに関わる幅広い事業者の情報交流の場を創出し、それぞれのビジネスの拡大や発展に向けた議論を行い、自動車ユーザーの便益拡大に寄与する活動を通じて社会に貢献することを目的に、2012年に発足。現在はBSサミット事業協同組合、全日本ロータス同友会、株式会社オートボックスセブンを始めとする、自動車アフターマーケットの各業界団体など17社が会員として名を連ねています。

なお、今回の理事会では、協議事項として次年度予算案や次年度スケジュールのほか、報告事項として新規会員候補の進捗などについて話し合われました。



BSサミット事業協同組合からの報告としては「今年から大きな改革に着手し、自動車整備専業(指定工場)を組合員として迎え入れ、国内外の自動車メーカー各社の受け皿としての準備を進める。現在322社の組合員を2024年度には700社に拡大する」と本年1月の賀詞交歓会における磯部理事長挨拶の要旨を発表。また8月開催予定のIAAEで「自動車メーカーに認められる整備事業者への近道」というテーマの出展者プレゼンテーションと、会期中に計5回の組合員募集説明会を実施予定であることを説明し、参加団体・企業に対して協力を仰ぎました。さらに、国土交通省の堀内自動車局長の年頭挨拶にあった「地域の課題解決のための事業者間連携による自律的取り組みの発掘・支援を通じ、持続可能な自動車整備ネットワークの維持に努める」との言葉を引き合いに、「オートアフターマーケット連絡協議会での情報、オートボックスセブン様との連携やARCネットワークサービスへの加盟を通じて地域連携の重要性を組合員へ訴えていく」とBSサミットとしての指針を示しました。

その他、全日本ロータス同友会の成毛政孝常任相談役からは、ロードサービス詐欺に関する情報提供や出張整備の一部作業の規制緩和要望について安全性担保の観点から反対の立場をとっている旨、お話があるなど、業界全体の信用を失墜させかねない問題を共有できる時間となりました。今後も自動車アフターマーケットに関わる事業者がより一層連携を深めて「新しいアフターマーケットの創造」を実現することが望まれます。

### 各団体・企業の情報発信から感じる 時代に合わせて進化をし続ける必要性

理事会後に行われた定例会の冒頭では、同協議会の代表理事である藤野副理事長が「皆さんそれぞれに色々な情報を持っていらっしゃると思いますが、毎回お伝えしているのですが、今日のこの会議に参加して何か一つ良い話が聞けたなと思って頂ければ幸いです。活発なご意見やご質問をよろしくお願い致します」と挨拶。その上で「BSサミットを代表して参加させて頂いているので钣金塗装業界の話をさせて頂くと、昨年末に国産ディーラー1社、輸入車ディーラー1社から、新しい車の钣金塗装ができる(機材を持っている)

工場がないので相談に乗って欲しいと言われました。車の進化によってアフターの在り方も変わってきている中で、対応できている工場とそうでない工場と大きく差が出てくるのではないかと実感した次第です」と話し、時代に合わせて進化をし続ける必要性を述べられました。

定例会では、同協議会が今年度推進するプロジェクトの進捗についての説明やIAAE2023の報告事項、各会員から最新状況と動向の共有がなされました。特に最新状況と動向の共有部分には時間が割かれ、有意義な情報交換が行われました。

**BP経営マネジメントシステム**

全国販売・保守サポート承ります!!

【代車状況一覧画面】

【作業状況一覧画面】

【担当者作業状況画面】

コグニ7で作成した見積書をベースに『工程管理』、『作業状況管理』、『売上粗利管理』、『担当者別売上管理』が実現します

Emotional Business Enhancer  
**EBE inc. 株式会社 EBE (イーバ)**

東京都千代田区神田淡路町2-23-1 お茶の水セブン 14F  
TEL:03-5298-1851 / FAX:03-5298-1852  
http://www.e-b-e.co.jp/

# 知っておこう自動車豆知識

## ～指定自動車整備工場になるための条件～

このコーナーでは、自動車アフターマーケットに関する基礎知識を解説致します。プロの方でも「なんとなく聞いたことはあるけど…」という曖昧な知識があるのではないのでしょうか。このコーナーでしっかりと知識を身につけましょう。

今回のテーマは「指定自動車整備工場になるための条件」です。新春賀詞交歓会で磯部理事長から発表があったように、BSサミットは入会基準の対象を車体整備工場から指定整備工場に拡大しました。では、指定自動車整備工場とはどのような工場なのでしょう。また、これから指定工場を目指す場合にはどのような基準をクリアしなければいけないのでしょうか。今さらではありますが改めて整理してみたいと思います。



また、指定工場になるには工員数や整備士数、整備士保有率、作業場等に係る基準を満たす必要がありますが、一番苦労するのが測れる「カウント取り」と呼ばれる技術要件(車検成績)だと言われています。「車検実績における月平均車検持込台数(車検持込総数/期間(月))は、原則として右表のいずれかの期間に示す台数以上であり、かつ、再検台数は、車検持込総数の3%以下であること」と規定されております。なおカウント取りは60台で終わるわけではなく、不適合(再検)率3%以下をキープしたまま指定許可が下りるまで受験を続けなければなりません。

期 間	月平均車検持込台数
最近2ヶ月	30台以上
最近3ヶ月	20台以上
最近4ヶ月	15台以上
最近5ヶ月	12台以上
最近6ヶ月	10台以上

一方で、車が進化を続ける中、車検の在り方も変化を余儀なくされています。2021年10月からは点検基準が改正され、対象車両の保安基準適合証交付には電子制御装置整備の認証が必要(一部経過措置あり)になりました。また、2024年10月にはOBD車検が本格始動いたします。これらに対応できる指定自動車整備工場がどれくらいあるかは定かではありませんが、BSサミットとしては国の定めた基準をクリアし新しい車にも対応した指定自動車整備工場をメンバーに迎え入れ「モビリティドクター」の全国ネットワークの創造に邁進してまいります。

現在、指定自動車整備工場は日本全国に約3万件あり、日本の車検システムを支えています。車検は車を利用する人だけでなく、車のある社会で生活する全ての人のために設けられている制度であり、安全・安心な車社会の創造には欠かせません。

まず指定自動車整備事業制度について国土交通省のホームページには「指定自動車整備事業者は、自動車の点検整備を行い、自動車検査員が検査を行った結果、保安基準の適合性を証明し、保安基準適合証の交付ができる事業者をいいます。この保安基準適合証の提出がある場合には、継続検査等の際、国の検査場への現車の提示を省略できることになっています。指定自動車整備事業の指定は、自動車分解整備事業の認証を受けており、また、優良自動車整備事業者認定規則で定める設備、技術及び管理組織を有するほか、指定自動車整備事業規則で定める自動車の検査の設備を有し、かつ、自動車検査員を選任している事業場について指定を受けることができます」と記載があります。つまり簡単に言うと、国が定める厳しい条件をクリアした工場(指定工場)は、国の代わりに車検を行うことができるという

ことです。指定自動車整備事業者になるためには地方運輸局長の指定を受けることが必要で、指定を受けるための一連の流れは次の通りです。



### 業界動向 ニュース

#### トヨタ新型「プリウス(HEV)」を発売

TOYOTAは、新型「プリウス」のシリーズパラルハイブリッド車(HLEV)を1月10日に発売しました。なお、プラグインハイブリッド車(PHEV)は、本年3月頃に発売する予定です。同車には最新の予防安全パッケージ「トヨタセーフティセンス」が標準装備されています。また、後方車間接近告知、周辺車間接近サポート(録面機能・通報提案機能)、セカンダリーコリジョンブレーキ(停車中後突対応)

注目のポイントは、トヨタとKINTOで立ち上げた新たなサブスクリプションサービス「KINTO Unlimited」の第一弾として、新型プリウスにUグレード(専売モデル)が設定されたことです。「KINTO Unlimited」では、保険や税金などの諸経費を月額利用料に含めるKINTOのこれまでのサブスクリプションサービスに、追加された。

先述の安全システムの検知対象を拡大する機能が追加されました。

「お客様の運転データを活用したクルマと人、双方の「見守り」コネクティッド」という2つの付加価値が加わっており、月額利用料は税込み1万6810円(2WD/標準内装仕様、最安値パッケージ、追加オプション無し、初期費用フリープランの7年契約、ポナス月加算16万5000円(選択の場合)からとなっています。

保険料の高い若者などにとってはとても魅力的な価格での販売になっており、今後の自動車の販売方法がサブスクリプションへと本格的に変化して行くことが予想されます。そうなるのは車検や整備、修理などアフターマーケットの部分で自動車メーカーに囲い込まれることとなりますので、益々自動車メーカーとの連携が重要な意味を持つことになるとは思いません。

トヨタ新型「プリウス」Uグレード

### 静岡支部・新春研修会／賀詞交歓会を開催

#### 損害保険会社とともに「電子制御装置整備の過渡期におけるコンプライアンス」を学ぶ

2023年1月20日(金)、BSサミット事業協同組合・静岡支部は、支部社長会(第一部)／新春研修会(第二部)／新春賀詞交歓会(第三部)を開催しました。第一部は、静岡駅前会議室を会場とし、支部社長会は組合員のみで開催。続く新春研修会からは損害保険会社、ローソン、オプザパーソンズ等から計20名、オプザパーソンズ2名にお越し頂きました。

研修会には、株式会社ジェイシーレゾナンスの松永博司氏による講演「電子制御装置整備の過渡期におけるコンプライアンス」というテーマで講演をして頂きました。参加頂いた損害保険会社の方からは「本場に知らぬ間に、この度企画した損害保険会社との合同研修会を半年に一回くらいのペースで開催したらどうか。これまでの親睦を深める会も良いが、前回は今回の研修会の様な場所が必要と感じた」と継続を望む声がありました。

会場を移して行われた賀詞交歓会には、自民党参議院議員若林洋平氏(静岡選挙区選出、前御殿場市長)にもご出席頂き、ゲスト27名、組合員21名の計48名が参加。創業150年を超える老舗科挙で、静岡の文化を感じて頂きながら損害保険会社などゲストの方々とも懇親を深めました。

講演内容は、自民党参議院議員若林洋平氏(静岡選挙区選出、前御殿場市長)にもご出席頂き、ゲスト27名、組合員21名の計48名が参加。創業150年を超える老舗科挙で、静岡の文化を感じて頂きながら損害保険会社などゲストの方々とも懇親を深めました。

静岡支部・小林支部長 自民党参議院議員 若林洋平氏(前御殿場市長)より冒頭新年のご挨拶を賜りました

### 充電

全自動フロンガス回収機 CS-YF134WS(2タンク型)

各種バッテリー完全対応充電器 BR-MAX70IS

D.Cインバータースポット溶接機 SW-VZ120

Brain Max アイドリングストップ MF/シールド、標準機

HFO-1234yf HFC-134a 兼用型

「明日をひらく」デンゲンの技術

## DENGEN

### WINSHIELD for ADAS

優良品 プレーキアシストシステム用フロントガラス

安心 ブラケット付きで 交換作業がスムーズ!

安全 純正品と 同等の機能!

安定 安定品質の ガラスメーカー

自動車用ガラスの幅広い品揃え 生駒商事株式会社

BS TECHNICAL  
最新自動車技術・事故車修理

第21回  
整備需要もEVシフトへ 入庫作業時の留意点

国内メーカーだけでなく  
新規参入もEVを発表

世界のEVシフトが加速しています。2022年で最もEVを販売したのが中国で、その数680万台。販売に占めるEV比率は19%でした。欧州全体の販売に占めるEV比率は11%まで上昇し、PHEVを含めると20%を超えるといわれています。一方、2035年までにすべての新車販売を電動車(ハイブリッド車含む)とする日本は2022年にEVの新型車が続々発売されました。初めてEVを発売するメーカーや海外EVメーカーの進出、軽乗用車のEVなど、様々なラインナップが揃うことで、2022年のEV販売台数(輸入車含む)は前年比2.7倍の5万8,813台となり、過去最高となりました。乗用車販売に占める割合は1.7%と、初めて1%を超えました。2023年度にはスズキ、ダイハツ、トヨタ、そしてCommercial Japan Partnership Technologiesの4社が商用の軽EVを導入、またソニーとホンダが出資するソニー・ホンダモビリティはアフィーラというブランドで2025年にも受注を開始すると発表しました。



米国のテクノロジー見本市「CES 2023」で発表されたアフィーラのプロトタイプ。(出典:ソニー・ホンダモビリティ)

高電圧回路を有するEV  
事故現場作業の留意点

EVを取り扱う自動車メーカーが増加することは、钣金・塗装の分野でEVの受け入れを打診される可能性が高まることを示しています。EVのドライブトレインにはハイブリッド車と同様に高電圧回路のシステムが含まれています。このため、修理や整備を実施するには高圧・特別高圧電気取扱者安全衛生特別教育を修了した人材が必要です。また、EVを入庫する際、レッカーサービスなどで事故現場に赴く際は、ハイブリッド車と同様に高電圧線の取り扱いには注意しなければなりません。むき出しになっている配線にはなるべく触れず、もしやむなく触る場合は、絶縁手袋を着用し、ビニールテープなどで絶縁してから作業を行ってください。その際、整備を行う時と同様、サービスグリップを取り外して高電圧を遮断するとさらに安全性が高まります。

また、EVの事故現場ではバッテリー付近の液漏れの有無を確認する必要があります。リチウムイオン電池の場合、漏出する液体は炭酸エステルを主とする有機電解液である恐れがあるため触



れてはいけません。やむをえず触る場合はゴム手袋、保護めがねを着用して行ってください。電解液が付着したウエスはそのまま捨てることはせず、密閉容器に入れて持ち帰り、法令に従った適切な処理が求められます。

EVのレッカーサービス  
クルマによって特殊な例も

EVのレッカーを行うにあたっては、基本的にハイブリッド車と同様の留意点となりますが、中にはEV特有の機能により、注意しなければならないケースがあります。例えば、前後輪にモーターを採用するクルマでは、けん引するとホイールが回転しモーターが発電することで重大な損傷や過熱を招く可能性があります。また、EVの代名詞となったテスラ車のレッカーにおいてはクルマを輸送モードに切り替えて実施するクルマがあります。EVのレッカー移動にも注意が必要です。



クルマの通信を遮断し  
モバイルアクセスを無効化

高度化するEVは通信技術と高親和性が高いため、前号で掲載したOTA技術や最新のコネクティッド技術が搭載されています。また、通信技術を用いた様々な制御も行われています。コネクティッドカーにおいてはお客様のスマートフォンと繋がることで、様々な情報がお客様に提供されます。したがって通信機能を無効化しなければ、修理中の様々なクルマの作動がお客様のスマホに伝送されることになります。これらの機能を備えるクルマについては(EVとは限りませんが)、まず通信サービスなどを自動車メーカーの整備要領書に沿って無効化する必要があります。なお、テスラ車の修理においてはモバイル機能を抑制するサービスモードに切り替えて作業を実施するよう定められています。

钣金作業時は必ず  
高電圧を遮断

作業者の感電防止はもちろんのこと、EVシステムやコンポーネントの損傷防止に効果的です。特に溶接作業時などで高電圧の遮断を実施していない場合、大きな事故を招くリスクが高まります。必ず、サービスプラグを抜いて、高電圧を遮断してから钣金作業を実施してください。なお、トヨタ・bZ4X、スバル・ソルテラの場合、サービスプラグを抜いた後、10分間は高電圧のコネクターや端子に触れてはいけません。もし作業を行うと、インバータASSY(コンバータツキ)内の高電圧コンデンサの残電圧により感電する恐れがあります。

EV入庫に必携の  
急速充電器



事故現場での処理やレッカー  
サービスでの車両搬送時と同様、修理や整備作業においても高電圧を遮断する必要があります。

近年のエーミング作業では静的な調整作業のみならず、動的な方法でエーミングを行えるクルマが増加してきました。このため、走行エーミングを実施する際などを考慮して、急速充電設備を備えることも検討する必要があります。近年はポータブル設計の可搬型急速充電器が発売されています。車載も可能なため、電欠したEVのレスキューに急行することも可能です。

エーミング作業支援 iPadアプリ 楽々エーミング

楽々エーミングは(株)シエム・シエムの登録商標です ※商標登録第6559349号

エーミング用ターゲットの  
設置位置の計測と設置時間を  
iPadを使って大幅に短縮

※iPadは付属しません。



簡単!  
車形を認識



設置位置を  
ナビゲート

エーミング用スタンドセット/ITS-01-SET

楽々エーミングとエーミング用スタンドの  
併用で、さらに効率UP!

※オプション



エーミング作業の前にはホイール・ボディアライメント作業が必要です



CAR-O-LINER®  
ボディもダメージも選ばない

カートロニック・ビジョン2 X2/X3

業界最多:約17,000種もの車両データを収録、あらゆる事故車に対応した究極のボディアライメントシステム

HUNTER  
ホイールアライメントの新時代を切り拓く

ホークアイエリート WA670

最新鋭のカメラシステムは精緻でスピーディな作業を実現! 高い信頼と生産性を約束します



月別リサイクルパーツ別実績 2022年11月～2022年12月(全国)

※その他＝エンジン・ミッション・ラジエター・コンデ  
ンサー・コンプレッサー・フロントガラス等のリサイク  
ルパーツ(新品パーツは除く)

内 訳	2022年		合 計
	11月	12月	
	数 量	数 量	数 量
フロントバンパー	368	361	729
リアバンパー	228	217	445
ヘッドライト	488	501	989
ボンネット	169	188	357
フェンダー	359	411	770
ドア	596	560	1,156
トランクリッド・リアゲート	150	157	307
テールランプ	308	307	615
その他*	2,560	2,400	4,960
合計	5,226	5,102	10,328

BSサミット 販売促進委員会

# リサイクルパーツ普及拡大に向けて

## 物価の高騰が止まらない状況に、出費を減らすリサイクルパーツの提案を

事故車修理時のコスト低減は、損害保険会社やユーザーにとっても、ますますニーズが高まっております。BSサミットでは、環境負荷低減とともに、こうしたコスト削減に寄与することを目的として、販売促進委員会を中心とし、自動車補修部品のリサイクル促進を進めています。今後とも積極的なリサイクルパーツの活用をよろしくお祈いします。

リサイクルパーツというと、ついカーボンニュートラルなどの環境問題ばかりに目が向きがちですが、ユーザー視点で見ると安く修理を行える点も非常に重要なポイントです。物価の高騰が止まらない状況下において、少しでも出費を減らしたいというのが世間一般の方の声だと思えます。その際に、親身になってリサイクルパーツを探してくれる整備工場であれば、きっと高評価を頂けるものでしょう。組合員各社におかれましては、引き続き利用促進をお願い致します。

# ストップ！粗悪修理！！

「ストップ粗悪修理」は、次世代自動車研究委員会や広報委員会を中心に収集している他社工場での粗悪修理情報を、BSサミットニュースやカーケアプラスなどのメディアを通じて公開しております。

不具合車両の撲滅とユーザーへ安心と安全を提供すべく、本来あってはならない修理不具合・不正修理の現状・実態を明らかにし、適切な修理を行うことの重要性を呼びかけております。今後とも主旨をご理解いただき「修理不具合情報」のご提供をよろしくお願いいたします。

## 不完全修理例① バックパネルが損傷したまま、作業穴はガムテープで塞がれていた！

リアバンパー交換で入庫。リアバンパーを外してみると、バンパー内部にあるバックパネルは過去の事故で損傷したままであり、修理作業を途中で中断したのか室内側には作業穴が空いており、この穴をガムテープで塞いであった。

もし、この車両がこの状態のまま、リアバンパーで吸収しきれないほどの損傷を受けた場合には、衝撃を吸収しきれず乗員に重大な損傷が起きてしまうことになる。



## 不完全修理例② 外観上からは判別できないリアバンパー裏側の骨格パネルの粗悪修理事例！

左リアフェンダーの損傷で入庫した車両。左リアフェンダー取替作業を行う為、リアバンパーを取外したところ、過去の事故修理作業でリアパネルをカット修理しているが、複数のパネル組合せ部位のため、スポット溶接されておらず、切り継ぎ修理跡をシール材などで隠蔽してある状態であった。車体寸法もずれた状態のままであった。

外観上からは判別できないリアバンパー裏側の骨格パネルの粗悪修理事例。



この様な不具合車両をなくすために、皆様からの情報提供をお待ちしております。

「カーボンニュートラル」「SDGs」  
何から始めたらいいか、お困りではありませんか？

# カーボンニュートラル・SDGs への 取組み支援サービス開始

## リユース部品を利用した修理のCO2削減量をご提供！

自動車整備工場様

リユース部品の積極的な活用

リユース部品  
CO2 ↓

➔

環境貢献書

自動車リサイクル部品  
環境貢献書

（例）\*\*\*オートサービス 様

リユース部品活用に伴うCO2削減量

リユース部品活用によるCO2削減量  
リユース部品削減量 138kg  
CO2削減量 138kg

資料書とデータをお手元に！

+

csv/  
Excel

NGPグループ以外から購入したリユース部品でも算出できます。

自社の環境貢献をリユース部品を使ってお客様にPRしてみませんか。

SDGs宣言

人と地球にやさしく  
自動車リサイクル事業を通して、  
子どもたちと地球の未来を考えます。

2030年  
目標

● 環境貢献額約1,000万円から2,000万円以上の自動車リユース部品の生産に  
● 環境貢献額約1,000万円から2,000万円以上の自動車リユース部品の生産に  
● 環境貢献額約1,000万円から2,000万円以上の自動車リユース部品の生産に

NGP 日本自動車リサイクル事業協同組合 / 株式会社 NGP  
〒109-0074 東京都港区麻布 3-25-33 長田ビル 2階 TEL:03-5475-1208



自動車整備業に関わる皆さまのお役に立ち続けるため  
未来の地球環境を明るく照らし続けます。

さらなるCS向上へ向けたリサイクルパーツの提案に

リサイクルパーツ発注システム  
**Repairs Direct System**  
リパーツダイレクトシステム (RDS)

皆様から、お申し込み「リパーツダイレクトシステム」をご利用いただけるよう「BSネットワークコールセンター」の専任スタッフがお客様のご要望に合わせたパーツの発注確認をさせていただきます。正確な部品発注をサポートしております。

自動車リサイクル部品のお問い合わせは  
**BSネットワークコールセンター**  
Tel:052-441-7503 (平日 9:00~18:00) Fax:052-441-7628



組合員訪問



近畿ブロック 大阪支部 有限会社光明池

徹底した差別化戦略 他社ではできないことをやることで独自のポジションを築く



昭和62年に建設した自社ビル「光明池西ビル」



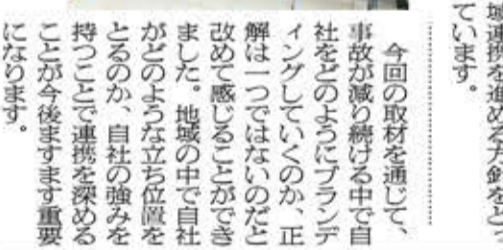
藤原義敬社長

現在では钣金塗装、整備、車検、ロードサービス、自動車販売(国産車・輸入車・逆輸入車)、コンセプトカー製作など、幅広い業をお客様にお届けしたいと務め、車に関するあらゆるサポートと安全、安心、できると思っています。

他社で修理できない車を修理する

同社の特徴は何と言っても多くあると言います。まず、他社で修理できない輸入車整備だけでなく、平成24年にポッシュユーカー(BCS)の認定をとり看板を掲げ、令和3年にはポッシュA.D.A.S.エキスパートサービス店の認定も取得するなど輸入車整備に注力しています。最近では、ディーゼル車に誤ってガソリンを給油してしまったメルセデスBクラスのタンクやインジェクターの交換を行うなど、他社では行わないような作業の依頼を集めていたオートトレー

車に関するあらゆるサポートと安全、安心をお届け 歴史ある街、大阪府和泉市、有名な池上曾根遺跡があり古き良き日本の風情も残っている一方、大型商業施設もあり都会の風景も持ち合わせている大阪都心のベッドタウンとして発展してきた土地に、今回お邪魔した「有限会社光明池」はあります。創業は昭和42年、先代社長の藤原敬治氏が、もともと航空機(戦闘機)の整備に従事していた経験を活かし「藤原钣金塗装工業所」として創業したのが始まりでした。その後、昭和62年に現在の社名「有限会社光明池」に組織変更、光明池西ビルの建設に伴い工場を拡張し、



同組合としてスタートを切るタイミングでした。業界全体の流れがディーラーの下請けからDRPへと移行する中、先代の社長が地域のメンバーに誘われる形で入会を決めたとのこと。先代の跡を継ぐ現社長の藤原義敬氏はBSサミットについて「ロードサービスを行うきっかけとなった」と、サービスの幅が広がったことを挙げ

ディーリングを開始したり、イタリアのランチャ・アルファロメオ・フィアットディラーと取引を開始し部品を直接仕入れたりと、輸入

車販売・整備を強化していききました。これらの取り組みの成果もあり、同社には県外からのお客様も多く訪れると言います。

同社の変化した取り組みはまだあります。平成14年1月からコンセプトカー(KMI)の製作をスタートし、翌年1月の東京オートサロン及び9月のベンチヤーエキスポ2002、KANSAIに出展していきま

現在ではコンセプトカー製作を行なっていない一方で、趣味みたいなものですが、まだあります。平成14年1月からコンセプトカー(KMI)の製作をスタートし、翌年1月の東京オートサロン及び9月のベンチヤーエキスポ2002、KANSAIに出展していきま

輸入車修理・整備に注力する同社には、デジタル画像認識技術を採用したエンジニアリング機器「BOSCH DAS3000」が導入されています。これにより国産輸入車問わず幅広い車種のカメラ・レーダーへの

対応が可能ですが、決して安くない設備の導入について藤原社長は「電子化が進む自動車においては無いと整備ができない。会社の売りになると思いいち早く導入した」と説明します。一方で「全ての機材を自社で持つ必要はないと考えている。それは必要が無いという意味ではなく地域で連携

今回の取材を通じて、事故が減り続ける中で自社をどのようにブランドインクしていくのか、正解は一つではないのだと改めて感じることができました。地域の中で自社がどのような立ち位置をとるか、自社の強みを持つことで連携を深めることが今後ますます重要になります。

钣金塗装の集大成、コンセプトカーの製作

同社の変化した取り組みはまだあります。平成14年1月からコンセプトカー(KMI)の製作をスタートし、翌年1月の東京オートサロン及び9月のベンチヤーエキスポ2002、KANSAIに出展していきま

現在ではコンセプトカー製作を行なっていない一方で、趣味みたいなものですが、まだあります。平成14年1月からコンセプトカー(KMI)の製作をスタートし、翌年1月の東京オートサロン及び9月のベンチヤーエキスポ2002、KANSAIに出展していきま

輸入車修理・整備に注力する同社には、デジタル画像認識技術を採用したエンジニアリング機器「BOSCH DAS3000」が導入されています。これにより国産輸入車問わず幅広い車種のカメラ・レーダーへの

対応が可能ですが、決して安くない設備の導入について藤原社長は「電子化が進む自動車においては無いと整備ができない。会社の売りになると思いいち早く導入した」と説明します。一方で「全ての機材を自社で持つ必要はないと考えている。それは必要が無いという意味ではなく地域で連携

今回の取材を通じて、事故が減り続ける中で自社をどのようにブランドインクしていくのか、正解は一つではないのだと改めて感じることができました。地域の中で自社がどのような立ち位置をとるか、自社の強みを持つことで連携を深めることが今後ますます重要になります。

今回の取材を通じて、事故が減り続ける中で自社をどのようにブランドインクしていくのか、正解は一つではないのだと改めて感じることができました。地域の中で自社がどのような立ち位置をとるか、自社の強みを持つことで連携を深めることが今後ますます重要になります。

会社の売りになると思い DAS3000を導入

輸入車修理・整備に注力する同社には、デジタル画像認識技術を採用したエンジニアリング機器「BOSCH DAS3000」が導入されています。これにより国産輸入車問わず幅広い車種のカメラ・レーダーへの

対応が可能ですが、決して安くない設備の導入について藤原社長は「電子化が進む自動車においては無いと整備ができない。会社の売りになると思いいち早く導入した」と説明します。一方で「全ての機材を自社で持つ必要はないと考えている。それは必要が無いという意味ではなく地域で連携

今回の取材を通じて、事故が減り続ける中で自社をどのようにブランドインクしていくのか、正解は一つではないのだと改めて感じることができました。地域の中で自社がどのような立ち位置をとるか、自社の強みを持つことで連携を深めることが今後ますます重要になります。

今回の取材を通じて、事故が減り続ける中で自社をどのようにブランドインクしていくのか、正解は一つではないのだと改めて感じることができました。地域の中で自社がどのような立ち位置をとるか、自社の強みを持つことで連携を深めることが今後ますます重要になります。

今回の取材を通じて、事故が減り続ける中で自社をどのようにブランドインクしていくのか、正解は一つではないのだと改めて感じることができました。地域の中で自社がどのような立ち位置をとるか、自社の強みを持つことで連携を深めることが今後ますます重要になります。

今回の取材を通じて、事故が減り続ける中で自社をどのようにブランドインクしていくのか、正解は一つではないのだと改めて感じることができました。地域の中で自社がどのような立ち位置をとるか、自社の強みを持つことで連携を深めることが今後ますます重要になります。

今回の取材を通じて

今回の取材を通じて、事故が減り続ける中で自社をどのようにブランドインクしていくのか、正解は一つではないのだと改めて感じることができました。地域の中で自社がどのような立ち位置をとるか、自社の強みを持つことで連携を深めることが今後ますます重要になります。

今回の取材を通じて、事故が減り続ける中で自社をどのようにブランドインクしていくのか、正解は一つではないのだと改めて感じることができました。地域の中で自社がどのような立ち位置をとるか、自社の強みを持つことで連携を深めることが今後ますます重要になります。

今回の取材を通じて、事故が減り続ける中で自社をどのようにブランドインクしていくのか、正解は一つではないのだと改めて感じることができました。地域の中で自社がどのような立ち位置をとるか、自社の強みを持つことで連携を深めることが今後ますます重要になります。

今回の取材を通じて、事故が減り続ける中で自社をどのようにブランドインクしていくのか、正解は一つではないのだと改めて感じることができました。地域の中で自社がどのような立ち位置をとるか、自社の強みを持つことで連携を深めることが今後ますます重要になります。

今回の取材を通じて、事故が減り続ける中で自社をどのようにブランドインクしていくのか、正解は一つではないのだと改めて感じることができました。地域の中で自社がどのような立ち位置をとるか、自社の強みを持つことで連携を深めることが今後ますます重要になります。

今回の取材を通じて、事故が減り続ける中で自社をどのようにブランドインクしていくのか、正解は一つではないのだと改めて感じることができました。地域の中で自社がどのような立ち位置をとるか、自社の強みを持つことで連携を深めることが今後ますます重要になります。

Advertisement for BANZAI equipment including Eagle Advance lift and MST-nano diagnostic tools.